

令和4年度 事業報告

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響を色濃く受けた1年でした。

就業時間の短縮や就業日数の減、契約解除などによる就業機会の減少が起きました。幸い感染した会員に重篤者はなく、事務局職員にも感染者が出なかったため、業務も停止することなく円滑に運営することが出来ました。これも、会員のみなさまおひとりお一人の新型コロナへの適切な対応と努力によるものとお礼を申し上げます。

事業高は、センターの基幹事業である広報紙配布業務において、配送業務が民間に委託されたことにより県民だよりや県議会だよりの受注が無くなり、さらに単発の選挙公報やハローごみ、ごみ袋サンプル配布などが無かったことにより、前年度に比べ約6,450万円の減。他の事業での増加もあり全事業高では4,900万円減の6億9,200万円となり、目標の6億6,000万円を上回りました。

会員状況では、新入会員数を増やすため、説明会の内容を見直し、開催回数を増やすなど工夫をするとともに、出前入会説明会を3度開催しました。これにより会員数は昨年より41名増の2,240人となりましたが、目標の2,300人には届きませんでした。

就業率においても78.9%と目標の80%を下回りました。

安全面では、傷害事故件数が昨年より2件多い14件となり、賠償事故においても昨年より7件多い8件となりました。

センター及び地区での各種取組みも、コロナ禍において、断念せざるを得ないものもありましたが、開催可能なものは積極的に取り組みました。

コロナの影響をさまざまな形で受ける中、「事業高」「会員数」「就業率」の3つの目標のうち、「事業高」が目標を上回ることができたのは、会員の皆様の頑張りとお力の賜物です。

1. 事業実績

(1) 事業高

請負・委任の事業高

広報紙の配送業務がなくなったことにより6,450万円が減少。しかし、広報紙配布業務以外ではコロナ禍の影響も徐々に改善傾向にあり、新規受注において、体育館の受付、施設・マンションの清掃等が増加したこと等560万円の微増となりました。事業高としては、広報紙配布を含む請負・委任は前年比90.9%、5億8,700万円と前年より約5,890万円の減となりました。

民間事業所関係の業務においては前年並み、家事援助や便利屋チームの一般家庭からの受注は減少しました。独自事業では「手作りチーム」と「あいっこ」の販売会場となる店舗が見つかったことにより大幅に事業高を伸ばしました。

| 事業種別 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 前年度比 | |
|------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------|
| 公共事業 | 140,803,251円 | 196,271,395円 | 138,879,361円 | ▲57,392,034円 | 70.8% |
| 民間事業 | 375,510,007円 | 377,141,662円 | 377,157,257円 | 15,595円 | 100.0% |
| 一般家庭 | 72,897,083円 | 72,078,146円 | 69,505,480円 | ▲2,572,666円 | 96.4% |
| 独自事業 | 1,076,741円 | 1,034,058円 | 2,095,289円 | 1,061,231円 | 202.6% |
| 合計 | 590,287,082円 | 646,525,261円 | 587,637,387円 | ▲58,887,874円 | 90.9% |

一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

派遣の事業高はコロナ禍の影響もありましたが、新設のスーパーマーケットの受注により、前年度比110.3%、約982万円の増。就業実人員は149人で前年度より8人増、就業延人員も1,610人の増となりました。

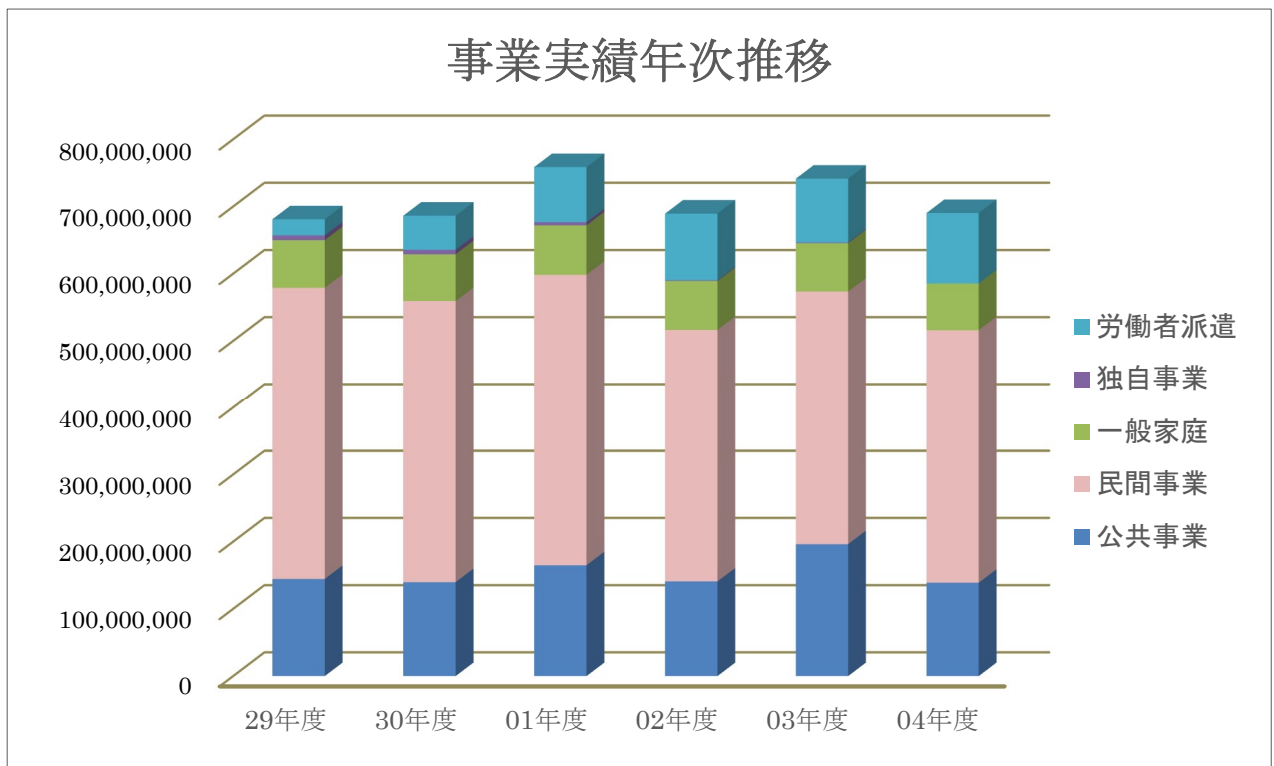
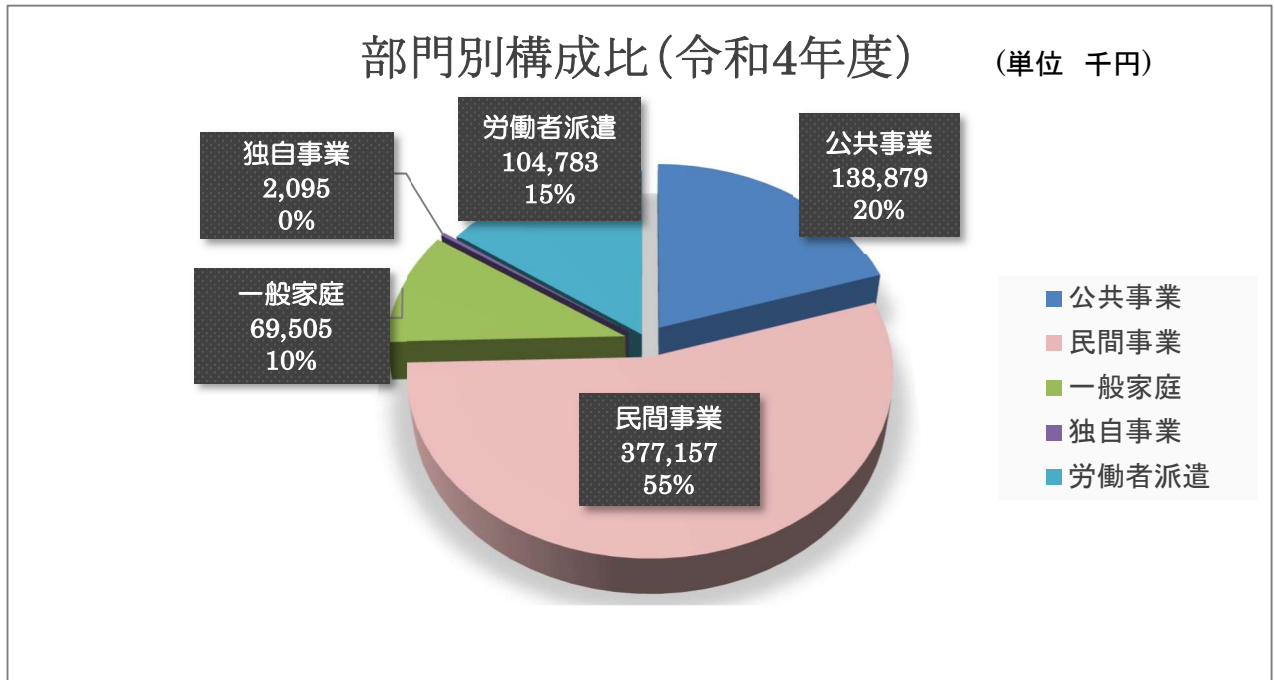
| 派遣事業 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 前年度比 | | |
|------------|--------------|--------------|--------------|------------|----------|--------|
| 事業高 | 99,146,964円 | 94,962,352円 | 104,783,000円 | 9,820,648円 | 110.3% | |
| 会員賃金 | 79,497,120円 | 75,440,878円 | 82,937,316円 | 7,496,438円 | 109.9% | |
| 手数料等 | 19,649,844円 | 19,521,747円 | 21,845,684円 | 2,323,937円 | 111.9% | |
| ※派遣事業収益 | (9,758,100円) | (9,106,900円) | (9,641,500円) | (534,600円) | (105.9%) | |
| 就業実人員 | 164人 | 141人 | 149人 | 8人 | 105.7% | |
| 就業延人員 | 20,517人 | 18,625人 | 20,235人 | 1,610人 | 108.6% | |
| 平均就業 日数 | 年 | 91.9日 | 132.1日 | 135.8日 | 3.7日 | 102.8% |
| | 月 | 7.7日 | 11.0日 | 11.3日 | 0.3日 | 102.7% |
| 月平均賃金 | 40,394円 | 44,587円 | 46,386円 | 1,799円 | 104.0% | |

※派遣事業収益は、上段手数料等の内、兵庫県シルバー人材センター協会から入金された額

「請負・委任」＋「派遣」の合計事業高

請負・委任及び派遣を合わせた全体の事業高合計は、年度目標の6億6,000万円を大きく上回り目標を達成しましたが、前年度比約93.4%（4,900万円）減の、6億9,200万円となり、広報紙配送業務が民間宅配業者に委託されたことが大きく影響しました。

| 合計事業高 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 前年度比 | |
|-------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------|
| 請負・委任 | 590,287,082 円 | 646,525,261 円 | 587,637,387 円 | ▲58,887,874 円 | 90.9% |
| 派遣 | 99,146,964 円 | 94,962,352 円 | 104,783,000 円 | 9,820,648 円 | 110.3% |
| 合計 | 689,434,046 円 | 741,487,613 円 | 692,420,387 円 | ▲49,067,226 円 | 93.4% |



(2) 会員の状況

377 人の新入会員に対し退会会員は 336 人、41 人の増加となり、令和 4 年度末の会員数は 2,240 人、前年度比 101.9%となりました。

コロナ禍に対応するため、説明会プログラムを時間短縮し、開催日数を増やすなど工夫を凝らして実施したことにより、前年度比 41 人と大きく増加しましたが、目標の 2,300 人には届きませんでした。

| | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 | 前 年 度 比 | |
|-------|---------|---------|---------|---------|--------|
| 入会者数 | 257 人 | 291 人 | 377 人 | 86 人 | 129.6% |
| 退会者数 | 313 人 | 289 人 | 336 人 | 47 人 | 116.3% |
| 増 減 | ▲56 人 | 2 人 | 41 人 | 39 人 | --- |
| 会 員 数 | 2,197 人 | 2,199 人 | 2,240 人 | 41 人 | 101.9% |

会員数 男女内訳等

| 区 分 | | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 | 前 年 度 比 | |
|------|----|-----------|-----------|-----------|---------|--------|
| 会員数 | 計 | 2,197 人 | 2,199 人 | 2,240 人 | 41 人 | 101.9% |
| | | 平均 74.2 歳 | 平均 74.5 歳 | 平均 74.6 歳 | 0.1 歳 | --- |
| | 男性 | 1,437 人 | 1,429 人 | 1,439 人 | 10 人 | 100.7% |
| | | 平均 74.8 歳 | 平均 75.1 歳 | 平均 75.3 歳 | 0.2 歳 | --- |
| | 女性 | 760 人 | 770 人 | 801 人 | 31 人 | 104.0% |
| | | 平均 73.1 歳 | 平均 73.3 歳 | 平均 73.3 歳 | 0.0 歳 | --- |
| 粗入会率 | | 1.54 % | 1.52 % | 1.53 % | | |

※粗入会率計算方法： 会員数÷市内 60 歳以上人口 (13 頁参照)

(3) 就業率の状況

就業率は、前年度より就業実人員が 4 人減の 78.9%と、残念ながら目標達成とはなりませんでした。

| | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 | 前 年 度 比 | |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 会 員 数 | 2,197 人 | 2,199 人 | 2,240 人 | 41 人 | 101.9% |
| 就 業 率 | 81.7 % | 80.6 % | 78.9 % | ・・・ | 97.9 % |
| 就業実人員 | 1,795 人 | 1,772 人 | 1,768 人 | ▲4 人 | 99.8 % |
| 就業延人員 | 208,819 人 | 213,344 人 | 191,546 人 | ▲21,798 人 | 89.8 % |

※上記は請負・委任 + 派遣の合計額

2. 具体的な取組み

(1) 会員拡大と就業意識向上への支援【会員増強委員会】

コロナ禍による人数制限のある中で、入会説明会は少人数で回数を増やし会員増加に努めた。出前入会説明会も実施した。

新入会員拡大

- ・出前説明会を市内南部「鳴尾・鳴尾南」「浜脇・津門今津」「中央・夙川・甲東・瓦木地域」の3分割とし、6月、10月、1月に実施。
事前に、各々の地域に「会員募集チラシ」18,450枚、26,600枚、42,050枚を新聞に折込んでPRした。また、市政ニュースのイベント欄に掲載。
- ・シルバー人材センター前の掲示板に募集チラシ、ポスターを常時掲載。
- ・市広報掲示板に「会員募集！」ポスターを掲示。

秋 春：190カ所

入会説明会

- ・短時間で終了できるようプログラムを変更、開催日数を増やして実施。
年間35回実施
- ・入会説明会での会員の就業体験談発表を継続。
- ・入会説明会の欠席者防止のため、毎回説明会の前日に電話での出欠確認を行った。

未就業会員への就業促進活動及び就業意識の向上

- ・新入会員交流会を3ヵ月ごとに開催。希望者には就業相談を実施。
- ・家事援助交流会（10/11）・清掃業務交流会（1/18）を実施。

会員力の向上

- ・毛筆筆耕講習会（12/5、12/21）開催。参加者10人

(2) 地域ニーズに応える就業開拓活動の推進【就業開拓委員会】

コロナ禍のため、事業所等の訪問を自粛し、未就業会員を対象としたアンケート調査を実施し、会員の就業ニーズの把握に努めた。

アンケート調査実施

- ・「5月から7月入会会員」及び「10月から12月入会会員」を対象にアンケートを2回実施。就業開拓活動の参考とした。

その他の活動

- ・白水峡墓参バス利用者に、阪急西宮北口駅、市役所前で「お墓掃除」PRティッシュの配布。
夏：2日間（380部）、秋：2日間（380部）、春：2日間（310部）
- ・満池谷墓地参拝者に「お墓掃除」PRティッシュの配布。
夏：2日間（280部）、秋：2日間（500部）、春：2日間（400部）

- ・地域情報誌に「お仕事引き受けます！」PR掲載
「宮っ子」：年1回、西宮市老人クラブ連合会会報「いぶき」：年2回
西宮商工会議所報「れぽると」に「お仕事募集」の広告掲載

(3) 健康で安全に就業できる環境づくり【安全・適正委員会】

会員の健康と安全意識向上のための啓発活動の推進

- ・就業に関わる事故の予防策として、「適正就業基準」「事故防止及び事故取扱基準」に則り、発生事故等に対する検証を行った。
年度を通じて傷害事故14件、賠償事故8件を検証。
また、会員の一部負担徴収も実施した。
- ・月報に健康・安全に関する啓発記事掲載及び関連チラシ同封は以下のとおりです。
 - 4月号 新型コロナウイルス感染予防の注意喚起
令和3年度「チャレンジ100」3年連続無事故無違反達成
 - 5月号 「特定検診」受診の勧め。令和3年度事故件数報告
 - 6月号 「熱中症への注意喚起」と「交通安全だより6月号」チラシ同封
 - 7月号 熱中症への注意対策。「交通安全だより7月号」チラシ同封
 - 8月号 熱中症への注意喚起。就業時の事故事例紹介
 - 9月号 秋の交通安全運動(9月21日～30日)、「チャレンジ100」参加
台風の到来に備え就業対応について注意
 - 10月号 傷害事故事例報告(5件)転倒が多い
 - 12月号 傷害事故事例報告(3件)転倒が多い
 - 1月号 傷害事故事例報告(1件)転倒
 - 2月号 新型コロナとインフルエンザの感染注意喚起。傷害事故事例報告(1件)
 - 3月号 4月1日より自転車運転時の「ヘルメット着用」努力義務化と安全
運転喚起。「ヘルメット着用」の奨励チラシ同封
- ・令和4年度「チャレンジ100」(10月1日～1月8日)広報紙関連会員を中心に10名が参加。4年連続無事故無違反とはなりませんでした。
- ・健康維持及び交通安全、救命などの講習会はコロナ禍により実施できなかった。
令和5年度救命講習会実施に向け、救命講習内容の研修会を行った。
- ・除草・剪定の就業現場に、6月～1月：7回(11箇所)安全パトロールを実施した。
点検リストに沿った安全基準の遵守状況を確認し事故防止に努めた。
- ・傷害事故及び賠償(物損)事故発生状況(次頁参照)
令和4年度：傷害事故14件、賠償(物損)事故8件発生

| 傷害事故 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 前年度増減 |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| 就業中 | 6件 | 10件 | 5件 | -5件 |
| 就業途上 | 10件 | 2件 | 9件 | +7件 |
| (内自転車) | (6件) | (2件) | (2件) | (0件) |
| 合計 | 16件 | 12件 | 14件 | 2件 |
| 賠償事故 | 7件 | 1件 | 8件 | +7件 |

傷害事故は転倒による骨折等の事故が増加。賠償事故は大幅に増加した。

適正就業への取組み

- ・適正就業への取組として事務局と連携し、長期継続就業者の実態調査を行った。一定数の会員が長期就業となっているため、令和6年度から具体的には是正対応を行う事とし、令和5年度を準備期間として具体策の検討を進める事とした。

(4) 地区地域班活動の活発化【地区活動委員会】

昨年同様、コロナ禍により地区活動が制限され、多くの地区行事は中止となった。

地区地域班活動の活発化

- ・リーダー・サブリーダー会議、広報紙配布責任者会議において、地区間の課題整理と情報交換、事務局との連携に努めた。

リーダー会議 6月29日、11月2日

広報紙配布責任者会議 6月29日、12月16日

広報紙配布の課題整理

- ・配送業務は本年度より西宮市が直接民間業者に委託する形態となり、民間運送業者からの配布物の受取り方法、配布報告書回収者の選定、回収業務の単価等の課題検討を行い、スムーズに移行できた。
- ・広報紙配布業務は、関係会員の尽力により円滑に実施でき、高い評価を得た。
- ・下記の広報紙を地区地域班、配布会員、仕分け梱包会員、配布センター関係会員約700人の連携と努力により配布した。

市政ニュース 年：23回

市議会だより 4回

社会福祉協議会広報紙「しあわせ」 4回 広報紙配布事業高

選挙公報紙 2回 92,258,071円

その他(スポット) 11回

合同清掃ボランティア

- ・10月29日に実施

参加者：8地区 245名

集めたゴミ 可燃ごみ90L：35袋、不燃45L：11袋

市の指定ごみ袋制度導入への協力

- ・導入前に、指定ごみ袋のサンプルを全戸配布した。
- ・市内のごみステーションプレートに「西宮市指定ごみ袋シール」貼りを行った。

地区地域班での会員相互の交流と親睦

- ・地区役員会は開催されたが、班交流会や女子会は残念ながら中止が多かった。地区役員の努力で、6地区で「地区だより」が発行され地区内での情報交換の場となった。

他委員会との協議連携

- ・イベント推進委員会 とグラウンドゴルフ開催（10月13日）に向けて協議を行った。
- ・公園パトロール
公園遊具の安全確保のため、市内全域530カ所で、遊具等の安全点検業務を各地区会員118人が実施した。

（5）組織活動の活発化【イベント推進委員会】

会員主体による「楽しく・ためになる」を目指したイベント開催を、コロナ禍による行動制限の範囲内で、積極的に取組んだ。

会員参加イベントの推進

- ・開催出来たイベント・講座

| 月 日 | イベント名 | 参加人数 | 備 考 |
|----------|---------------|--------|-----------------------------|
| 10月4日～9日 | 会員作品展 | 出展30人 | 作品展示数71点、来場者数554名 |
| 10月13日 | 第1回グラウンドゴルフ大会 | 47人 | 協力：稗田久人（会員）他 |
| 12月16日 | 第1回「終活とは何か」講座 | 16人 | 講師：稲葉 久（会員） |
| 2月21日 | フレイル講座 | 15人 | 西宮市保健所 吉井講師 |
| 3月27日 | 健康マージャン講座 | 15人 | 講師：長野義則 西宮っ子健康麻雀倶楽部 専任講師 |
| 毎月第2金曜 | 楽しくエアロ開催 | 毎回10±人 | |

- ・開催出来なかったイベント

シルバーフェア、研修バスツアー、こども工作教室、ヒロタ de うたごえ、ぴよぴよサロン、こども将棋大会・お月見コンサート等

社会貢献活動の継続

- ・インクカートリッジ&ベルマーク 12月16日 浜脇小学校へ寄贈

(6) 情報受発信体制の強化【広報委員会】

コロナ禍の状況を考慮した会員向け広報活動を推進した。また、地区活動の活発化を目指した支援を行った。

センターの認知度向上のため、多様な広告媒体を活用して PR 活動に取り組んだ。

会員向け情報受発信の強化

- ・月報「シルバーにしのみや」を毎月 1 回発行。
- ・センターから会員向け情報を適宜発信した。

対外広報活動

- ・市民、事業所を対象にセンターの PR 紙「翔アップ」の発行を継続し、市内全域に配布。 12 月
- ・市内 190 カ所の掲示板に掲示した「会員募集！」ポスターの作成支援を行った。
- ・センター市民向け掲示板を活用し、季節イメージを取入れた情報発信を行った。
- ・新ホームページへの移行を図り、会員募集、就業拡大に繋がる PR 掲載を行った。
- ・市内運行の阪神バス 1 台の側面にラッピング広告を行い PR の一助とした。
- ・業務車両 2 台に PR ラッピングを行い知名度アップを図った。

(7) 会員への就業提供の推進【就業拡大チーム】

今年度も、就業相談会を毎週月曜日定例開催とし、未就業会員の減少に努めた。コロナ禍により 4 月の相談会を中止したが、5 月以降継続開催した。相談に参加した会員は前年度の 3 倍と大幅に上回った。

未就業会員への就業提供の推進

- ・定例就業相談会

実施期間：5月～3月、毎週月曜日午後

参加者：66名(昨年22名)

内、就業確定者24名(男性15名 女性9名)

※ 令和4年度会員32名(男性19名、女性13名)

就業確定者16名(男性9名、女性7名)

- ・未就業会員へのアンケート調査の実施と就業相談会への参加を呼びかけた。

実施期間：7月

令和3年11月～令和4年3月入会の未就業会員64名を対象

アンケート回答者：36名、相談会参加者14名

内、令和4年度に入会した会員32名

男性19名、女性13名、就業確定者16名(男性9名 女性7名)

(8) 組織活動の活発化【理事会】

理事会、委員会、事務局が連携してコロナ禍で可能な事業運営を行った。

長期就業事案及び会員の就業機会の拡大についての検討を行い、関連委員会へ調査と課題解決を依頼した。

委員会活動

- ・各委員会ともコロナ禍の影響により活動が制限される中、年度目標に向け、可能な範囲の活動、取組みを実施した。
- ・安全・適正委員会を中心に、長期就業事案についての検討を始めた。

財政体質の強化

- ・不要不急な支出は行わず、公益法人に相応しい適切な支出に努めた。

関係団体との連携

- ・兵庫県、西宮市、全シ協、兵シ協、近隣シルバー、社会福祉協議会等、関係機関との連携に努めた。
- ・先進シルバーの情報収集及び意見交換を行った。

(9) 事務の効率化と会員活動への支援【事務局】

(公社) 兵庫県シルバー人材センター協会と連携した事業

派遣事業への取り組み

- ・新規受注は、請負か派遣かを見極め適正就業となるよう契約推進に取り組んだ。

有料職業紹介事業

- ・令和4年度も有料職業紹介に至るまでの相談事例はなかった。

効率的かつ適正な事務局業務の推進

- ・事務局は兵シ協並びに阪神ブロック（8市1町）の各シルバー事務局と随時事務局業務について情報交換を行った。
- ・全シ協、兵シ協が実施した研修会等に参加し、事務能力の向上に努めた。
- ・就業相談会及び入会面談の実施
就業拡大チームとして就業相談会を継続実施した。（10頁参照）
また、会員増強委員会との連携で入会説明会参加者に個別就業面談を行った。
- ・長期就業事案の調査、課題解決に向けた検討を始めた。

理事会、委員会、地区地域班との連携強化

- ・理事会、委員会への支援を行った。
- ・地区地域班活動に、随時支援を行った。
- ・兵シ協事務局長会議、担当職員会議、阪神ブロック会議にリモートで出席し、情報収集と連携を図った。

インボイス制度への対応

- ・令和5年10月から始まるインボイス制度に対応すべく業務システムの整備をすすめた。
- ・制度の特例的措置を、兵シ協とともに、兵庫県・市長会・副市長会に要望した。